

科目名	人間福祉研究 [院]					単位	2.0
担当教員	玉井 威						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4683

●授業のテーマ
人間福祉研究について

●到達目標
人間の全人的理解に基づく福祉の研究ができるようになる。

●学習内容(授業概要)

主として、老い・病い・死といった人間存在に深く根差す実存的諸条件の考察を通しての人間理解をめざす。このことは、従来からの福祉の対象としての人間像、医療の対象としての人間像の見直しをせまるものとなろう。つまり、従来の高齢者像、障害者像を見直し、全人的な人間理解を試みるものである。

●学習内容(授業計画)

1. 導入（人間福祉とは何か）
2. 知の権力性
3. 社会構築主義
4. 仏教と福祉の接点
5. 人間観（老い）
6. // （病い）
7. // （命とは何か）
8. // （仏教、キリスト教に見る死）
9. ケアの本質
10. 終末期におけるケア
11. 存在と時間
12. 愛・アガペー・慈悲
13. 豊かさとは何か1（モモの時間）
14. 豊かさとは何か2（パパラギの世界）
15. 全体討議

●準備学習・事後学習の内容

事前にシラバスを確認し、まずは自分なりに考えをまとめる。事後には講義内容を確認し修士論文に役立てる。

●成績評価方法・基準

学期末試験（レポート）の成績で9割、平常点で1割

●テキスト（必携）

特になし。

●参考文献／その他

中村元訳：ブッダのことば（岩波文庫）

中村元訳：真理のことば・感興のことば（岩波文庫）

中村元訳：ブッダ最後の旅（岩波文庫）

●履修上の注意

各自、職場、現場での経験をどしどし話してもらい、討議する時間も持ちたい。